

こっこめ通信 12 2017

「不思議がいっぱい展示水槽」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年も「ザトウクジラ」と「クロアシアホウドリ」が島の周りに帰ってきました。昨シーズンは黒潮が島から離れて海水温が下がった後、ザトウクジラの姿が見えなくなっていました。今シーズンは黒潮が離れず、春まで見られたらいいですね。また、クロアシアホウドリは昨シーズン2羽の雛が巣立っています。今シーズンは、いくつかの卵が生まれ、何羽の雛の姿が見られるのでしょうか？とっても楽しみです！

さて今回は、「これは生きものですか？」「ナマコ、イイ仕事してくれます」のお話です。

これは生きものですか？

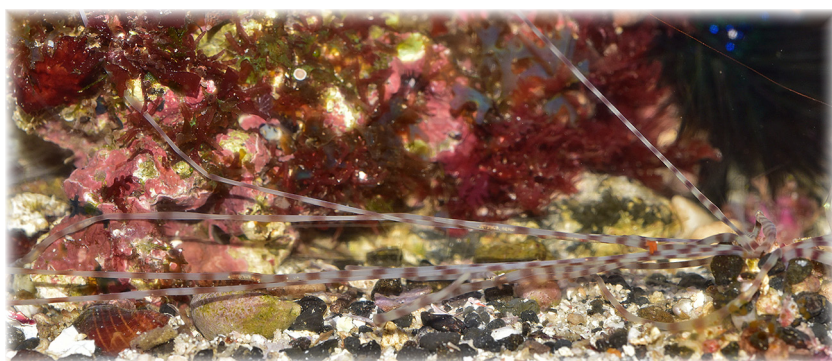
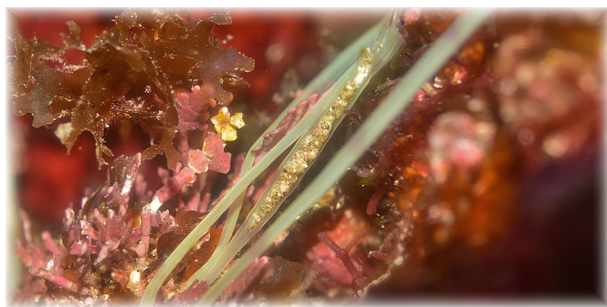
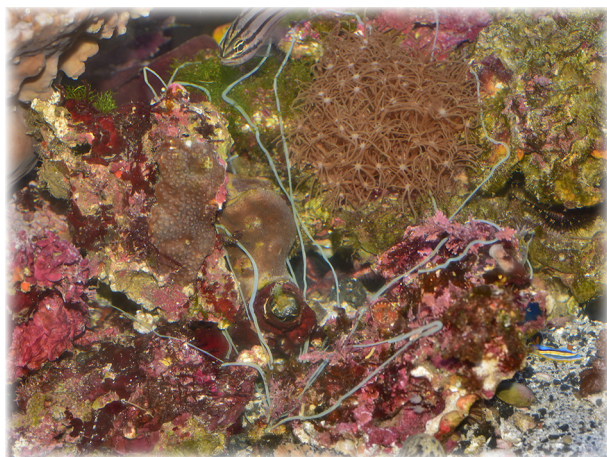
以前、ビジターセンター内の展示水槽は、魚類をメインに展示していましたが、現在は魚は少なめにして魚類以外のいろいろな生きものを飼育展示しています。

その中で来館者が一番不思議がり、質問の多い生きものが写真の生きものです。「魚の体に寄生するヒモみたいな生きもの～、アニサキス？」とか「これは生きものじゃないでしょ？」とか、いろいろな声が聞こえてきます。

この生きものは、フサゴカイの仲間。釣りの餌などに使われるゴカイなどと同じ多毛類です。小石などを粘液で管状に固めた筒を作り、その中に入っています。ヒモのように見えるのは糸状感触手と呼ばれ、これを使い砂や堆積物を口に持っていきます（写真右）。水槽の中には触手の白いタイプ（写真右）と触手に縞のあるチンチロフサゴカイ（写真下）が入っています。この仲間は糸状感触手が細く長いのでスパゲッティワームなどとも呼ばれています。

飼育していると海の中とは違いゆっくりと観察できるのでいろいろな発見があります。糸状感触手は筒状になっているのではなく平らなものが丸くなっていました。また、体の入っている筒の出入り口はひとつではなく、いろいろなところから触手がでてきます。そして時々、排泄物？が勢いよく火山の噴火のように噴き出されます。

生きものらしくない不思議な生きものをじっくりと観察できる水槽をぜひ見に来て下さい！



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ナマコ、イイ仕事してくれます

展示水槽には「ナマコ」もたくさん入っています。全く動かない黒い棒のような生きもの（ニセクロナマコ）を見て「これ何ですか？」と質問があり、「ナマコですよ」と答えると「食べられますか？」「食べるナマコ（マナマコ）とは少し違いますね」「美味しいですよ」というパターンがお決まりの対応になっています。ナマコ＝たべものというイメージが強いですね。ウニを見つけた人も同じように「食べられますか？」のパターンになっています。

現時点では水槽内には6種（下写真）のナマコが入っています。6種共に水底を這いながら触手で堆積物や砂を口に取り込んでいます（写真右）。取り込んだ堆積物や砂は総排泄腔からきれいな砂として出てくるのです。前ページのフサゴカイと同じく、水槽のお掃除屋さんとしてとてもよく働いてくれます。ニセクロナマコは採集した時は小さかったですが、数年経っているうちにずいぶん大きくなりました。石の隙間に入り込んで見えにくい種もありますが、ビジターに来館の際は、水槽の働き者の仕事ぶりを見てあげてください。



イソナマコ?



クリイロナマコ



トラフナマコ



クロホシアカナマコ



ニセクロナマコ



チビナマコ



不明種



トゲオオイカリナマコ



マナマコ



クロテナマコ?



アカオニナマコ



マナマコ

八丈島ではダイビング中にナマコをあまり見かけません。生息場所が堆積物のある港湾内やタイドプールなど潜ることが少ない場所だからかもしれません。また、黒潮が島の南側に離れてしまうと水位が急激に下がり生息場所が干からびてしまう（逃げられない）ことも原因のひとつかもしれません。左は島で撮影した数少ないナマコです。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 11 月 12 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 29 年第 11 回) 参加者: 沖山美、矢野、VC 菊池

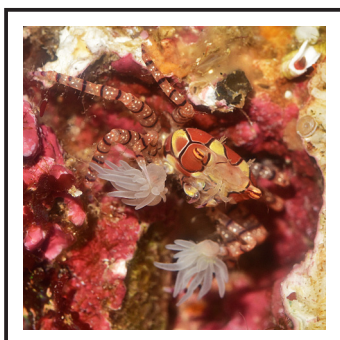
NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	若い実	1	ウチワゴケ	
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	オオタニワタリ	
3	アキノノゲシ	蕾	3	オニヤブソテツ	
4	アシタバ	実	4	カニクサ	塩害が顕著
5	ウスベニニガナ	花と実	5	タチシノブ	
6	オニタビラコ	花と実	6	タマシダ	
7	カタバミ	花と実	7	トラノオシダ	
8	ススキ sp.	実が残る	8	ナチシケシダ	
9	ツルソバ	花	9	ノキシノブ	
10	ツワブキ	咲き始め	10	ハカタシダ	
11	ナキリスゲ	実が残る	11	ハチジョウカナワラビ	
12	ノコンギク	花, 盛り	12	ヒトツバ	
13	ハチジョウアザミ	花と実	13	ホシダ	塩害が顕著
14	フウトウカズラ	実	14	ホラシノブ	栄養葉
15	ヘクソカズラ	熟した実	15	マツバラン	
16	メリケンカルカヤ	実が残る	16	マメツタ	胞子葉が目立つ

木本		
1	アオキ	若い実
2	イヌビワ	実
3	オオバヤシャブシ	実
4	ガクアジサイ	実
5	カラスザンショウ	実が残る
6	シマクサギ	実が残る
7	スダジイ	実と虫こぶ
8	ヒサカキ	花芽
9	ヒメユズリハ	熟した実
10	マサキ	実



今回は台風 21 号の潮風による植物の被害が大きく、植物公園全体が焼け焦げたように見えました。観察した種数もシダ植物 16 種を含む 42 種とこれまでになく少ない結果になりました。秋のチョウ、ウラナミシジミ (画像) も見られましたが強風の影響か羽根が傷んでいました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、水槽の中にいることもある「キンチャクガニ」にスポットを当ててみたいと思います。



キンチャクガニ

Lybia tessellata

オウギガニ科のカニ。伊豆諸島以南に分布。

八丈島では水深 15m 前後の転石下で普通に見られます。

鋏脚にイソギンチャクを挟んでいます。挟んでるイソギンチャクは、カニハサミイソギンチャクやカサネイソギンチャクなどいろいろな種があるようです。

2017 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5	6	大雪 7	8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	11	12	13	14	15	16 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」
17 ガイドウォーク 冬の特別行事 「小さなツリーを作ろう」	18	19	20	21	冬至 22	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「冬鳥を見よう」
24 ガイドウォーク	25	26	27	28	29 ガイドウォーク	30 ガイドウォーク
31 ガイドウォーク	1	2	3	4	5	6

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！

12 / 10 (13:30 ~ 約1時間半) 中学生以上

ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例、島の自然素材を使っていろいろなリースを作りましょう！

12 / 16 (13:30 ~ 約1時間半) 小学生以上 (1~3年生は保護者と一しょにひとつ)

ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

特別行事

「小さなツリーを作ろう」

マツボックリやビーズを使って、小さなクリスマスツリーを作ります。

12 / 17 (13:30 ~ 14:45の間に受付をしてください) 15分ほどで完成する行事です

ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：70名 だれでも

八丈学講座

「冬鳥を見よう」

毎月行っている八丈学講座。末吉の洞輪沢港付近で渡ってきた冬鳥や旅鳥を探しましょう！

12 / 23 (13:30 ~ 約1時間半) 中学生以上

洞輪沢漁港集合・解散 参加費：50円 定員：15名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！

12 / 29 ~ 1 / 3 (13:30 ~ 16:45) いつでも・だれでも・無料

て〜こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち

11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16:00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.12.1 第199号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

展示水槽の中には、なかなか姿が見られない生きものもたくさん入っています。ちょっと紹介すると、ハナオレウミケムシ、テッポウエビ、ケブカガニ、モクズシヨイ、オオクモヒトデ、ミカドウミウシ、コデマリウニなどなど。ここでは紹介しきれない不思議生物がいっぱい！ (高)